

2005 年小児科学教室業績

(1月～12月)

教授 吉川徳茂
助教授 鈴木啓之, 樋口隆造 (周産期部)
講師 武内 崇, 南 弘一, 中西浩一, 奥谷貴弘 (周産期部)
助手 神波信次, 渋田昌一, 吉益 哲, 田村 彰

研究概要

<腎グループ> IgA 腎症およびネフローゼ症候群の治療法を確立するための全国多施設による臨床治療研究 (厚生労働省科学研究, 小児 IgA 腎症治療研究会, 小児難治性腎疾患治療研究会) を進め, 成果をあげている。IgA 腎症, 紫斑病性腎炎, ネフローゼ症候群, Alport 症候群, 多発性嚢胞腎等の分子生物学的・形態学的手法を用いた病態解析を行っている。

<循環器グループ> 先天性心疾患の循環動態の診断に, 非観血的検査である核磁気共鳴画像・位相画像法の有用性を確立した。川崎病の研究では, 溶連菌外毒素の一つである SPEC がスーパー抗原として関与していることをつきとめ, スーパー抗原によるポリクローナルな T 細胞活性化から血管平滑筋に対する自己抗体 (IgA・IgM 画像) の産性が誘導され, これが発症に関与していることを発見し, その同定を急いでいる。また, PAF アセチルハイドラーゼ遺伝子多型と川崎病の重症度の相関を報告した。

<神経グループ> 誘発電位 (ABR, VEP, SEP) を使用し, 神経疾患の客観的評価の研究やビデオ・脳波システム, 長時間脳波記録装置の導入により, 発作性疾患 (てんかん) の臨床的特徴を検討している。また, 急性脳炎・脳症の病態生理の臨床的, 基礎的研究に取り組んでいる。基礎的研究として代謝異常, 筋疾患の遺伝子解析の共同研究を行っている。被虐待児の県でのサーベイランスを実施し, その中心的施設として健康対策課・児童相談所との連携治療・予防のセンター的役割を担っている。心身症の臨床と研究に取り組んでいる。

<血液腫瘍グループ> 血液悪性腫瘍グループでは, 急性白血病, 神経芽腫などの小児がんに関するグループスタディに参加し, 治療研究を行っている。また, 造血幹細胞移植を併用した大量化学療法, 細胞療法に取り組んでいる。小児がん発生とがん抑制遺伝子の遺伝子多型との関係, 血球貧食症候群における Perforin 遺伝子解析・CTLA-4 遺伝子多型の解析を行っている。

<未熟児・新生児グループ> 新生児人工換気療法は換気に伴う圧ないし量によって生じる慢性肺疾患をいかに軽減するかが最も重要な課題となっている。その目的に添う換気方法として高頻度人工換気, patient triggered ventilation に取り組んでいる。また, 気管支肺異形成症におけるレニン-アンジオテンシンの関与を胎児肺線維芽細胞に対する伸展刺激により検討している。新生児遷延性肺高血圧は肺低形成を伴う場合は治療困難であるが, 胎便吸引症候群や一過性多呼吸症候群には一酸化窒素吸入療法が奏功する場合も多く, 当院 NICU では早期より一酸化窒素吸入療法を導入し, 効果をあげている。

<遺伝子染色体グループ> 先天性異常疾患の診断, 患者家族への支援 (遺伝相談・療育・カウンセリング) を主目的としている。尚, 各種遺伝性疾患の DNA 等の材料維持保管のため EBV による患者細胞の樹立, 線維芽細胞の保存, ダウン症の医学管理及び重症度判定を行っている。

著書

a) 学術

1. 吉川徳茂: 小児の慢性腎炎症候群. 今日の治療指針 2005 山口 徹, 北原光夫編 pp964-965, 医学書院, 2005
2. 著: ロバート・J・イエトマン, マーク・D・ホーマン 監訳: 佐地勉 翻訳: 谷澤隆邦, 千田勝一, 佐地 勉, 森川昭廣, 望月博之, 戸所 誠, 村松礼子, 清水俊明, 鈴木竜洋, 吉川徳茂, 大澤真木子, 森内浩幸, 小原 明, 藤枝憲二, 渡辺久子: 腎・泌尿器系疾患. 研修医のための小児科診療 500 問 pp157-174, メジカルビュー社, 2005
3. 吉川徳茂: IgA 腎症に対する EBM に基づいた治療法の開発. 先端医療シリーズ 34 小児科の新しい流れ 編

集主幹 柳澤正義, 衛藤義勝, 五十嵐隆 編集委員 横田俊平, 原 寿郎, 大菌恵一, 吉岡 博 pp283-286, 先端医療技術研究所, 2005

4. 吉川徳茂: 小児ネフローゼ症候群-病態と薬物療法. 腎不全診療のコツと落とし穴 浅野泰編集 pp142-143, 中山書店, 2005
5. 吉川徳茂: 遺伝性糸球体疾患 アルポート症候群と菲薄基底膜病. 腎生検病理診断標準化への指針 編集 日本腎臓学会・腎病理診断標準化委員会 pp54-55, 東京医学社, 2005
6. 吉川徳茂: 遺伝性糸球体疾患 先天性ネフローゼ症候群 congenital nephrotic syndrome. 腎生検病理診断標準化への指針 編集 日本腎臓学会・腎病理診断標準化委員会 pp56, 東京医学社, 2005
7. 北野尚美, 柳川敏彦, 篠崎正博, 吉川徳茂: 8ヵ月の子どもが意識障害で搬送された。「シミュレーションで学ぶ救急対応マニュアル1」千代孝夫編, 羊土社, 東京, pp. 90-100, 2005
8. 下山田洋三: 障害児と虐待。「子ども虐待の臨床 医学的診断と対応」坂井聖二, 奥山眞紀子, 井上登生編, 南山堂, 東京, pp. 205-210, 2005

総説

1. 木村健二郎, 山口 裕, 吉川徳茂, 村上睦美: Round Table Discussion 小児科医と内科医の連携による、腎疾患治療の継続性を探る. *Nephrology Frontier* 4:11-21, 2005
2. 吉川徳茂: 先天性ネフローゼ症候群. 内科 内科疾患の診断基準・病型分類・重症度. 95(6): 1256, 2005
3. 吉川徳茂: Alport 症候群. 内科 内科疾患の診断基準・病型分類・重症度. 95(6): 1256, 2005
4. 藤田晃生, 野津寛大, 吉川徳茂: 非典型的膜性増殖性糸球体腎炎の治療と予後. *小児科* 46(7): 1179-1184, 2005
5. 吉川徳茂: 腎臓病学校検診と IgA 腎症: 早期発見例への治療効果. *腎臓* 28(1): 23-28, 2005
6. 吉川徳茂, 本田雅敬, 関根孝司, 中西浩一, 飯島一誠, 大友義之, 池田昌弘, 和田尚弘, 中村秀文, 佐古まゆみ: 小児特発性ネフローゼ症候群薬物治療ガイドライン 1.0 版 日本小児腎臓病学会学術委員会小委員会「小児ネフローゼ症候群薬物治療ガイドライン作成委員会」. *日本小児科学会雑誌* 109(8): 1066-1075, 2005
7. 吉川徳茂: 難治性ネフローゼ症候群治療の進歩 小児頻回再発型ネフローゼ症候群. *HUMAN SCIENCE* pp23-27, 2005
8. 吉川徳茂, 本田雅敬, 関根孝司, 中西浩一, 飯島一誠, 大友義之, 池田昌弘, 和田尚弘, 中村秀文, 佐古まゆみ: 小児特発性ネフローゼ症候群薬物治療ガイドライン 1.0 版 日本小児腎臓病学会学術委員会小委員会「小児ネフローゼ症候群薬物治療ガイドライン作成委員会」. *日本腎臓学会誌* 47(7): 790-803, 2005
9. 吉川徳茂, 本田雅敬, 関根孝司, 中西浩一, 飯島一誠, 大友義之, 池田昌弘, 和田尚弘, 中村秀文, 佐古まゆみ: 小児特発性ネフローゼ症候群薬物治療ガイドライン 1.0 版 日本小児腎臓病学会学術委員会小委員会「小児ネフローゼ症候群薬物治療ガイドライン作成委員会」. *日本小児腎臓病学会雑誌* 18(2): 90-101, 2005
10. 吉川徳茂: IgA 腎症-小児. 腎と透析 臨時増刊号 ネフローゼ症候群のすべて: 389-392, 東京医学社, 2005
11. 中西浩一, 吉川徳茂: 抗糸球体基底膜抗体 (抗 GBM 抗体). *小児内科* 37 増刊号: 385-388, 2005
12. 中西浩一, 吉川徳茂: 特集 腎疾患における遺伝子・蛋白質解析-ゲノミックスとプロテオミックス 上皮細胞構成蛋白の異常によるネフローゼ症候群. *腎と透析* 58(3): 295-299, 2005
13. 中西浩一, 佐古まゆみ, 吉川徳茂: 糸球体上皮細胞関連蛋白と遺伝性ネフローゼ症候群. *日本小児科学会雑誌* 109(7): 805-814, 2005
14. 神波信次, 吉川徳茂: 小児の輸液. *総合臨牀* 54(10): 2669-2673, 2005
15. 本田雅敬, 矢田菜穂子: 小児救急の手引き 肉眼的血尿. *臨床医薬* 21: 225-232, 2005
16. 奥田真珠美, 林 寛子, 坊岡美奈, 青柳憲幸, 宮代英吉, 小池通夫: 特集 *Helicobacter pylori* 非侵襲的診断法の実際-診療現場の最前線より- 小児における *Helicobacter pylori* 非侵襲的診断法の選択. *Helicobacter Research* 9(1) 20-24. 2005
17. 奥田真珠美, 宮代英吉, 杉山敏郎, 中澤晶子: 図解 小児の *Helicobacter pylori* 感染診断法のピット

ホールー 抗 *H. pylori* IgG 抗体を中心に. *Helicobacter Research* 9(3) : 3-7. 2005

18. 奥田真珠美, 宮代英吉 : 小児の食と栄養 Q&A (消化器疾患) 下痢の時に薄めたミルクを勧める飲めることがあるが、本当に役立つのか? *小児内科* 37(5)665-669, 2005
19. 奥田真珠美, 藤岡利生 : *H. pylori* の疫学 —感染経路はどこまで明らかになったか—. *医学のあゆみ* 205(12) : 975-978. 2005
20. 奥田真珠美, 帽子はるな, 青柳憲幸, 宮代英吉 : *H. pylori* 除菌と消化性潰瘍・関連疾患 III. 疫学. *H. pylori* 感染症の感染経路. *日本臨床* 63(Suppl 11) : 172-176. 2005
21. 林 寛子, 奥田真珠美, 坊岡美奈, 山家宏宣, 宮代英吉, 吉川徳茂 : 小児の鉄欠乏性貧血と *Helicobacter pylori* 感染症. *小児科* 46 (2) : 257-262, 2005

原著

1. Higuchi R, Miyawaki M, Kumagai T, Okutani T, Shima Y, Yoshiyama M, Ban H, Yoshikawa N. Central Hypothyroidism in infants who were born to mothers with thyrotoxicosis before 32 weeks' gestation: 3cases. *Pediatrics* 115: 623-625, 2005
2. Komai H, Naito Y, Okamura Y, Fujiwara K, Suzuki H, Uemura S : Preliminary Study of Autologous Blood Predonation in Pediatric Open-Heart Surgery Impact of Advance Infusion of Recombinant Human Erythropoietin *Pediatr Cardiol* 26(1):50-55, 2005
3. Suzuki H, Takeuchi T, Minami T, Shima Y, Iwahashi S, Shibuta S, Uemura S, Kounami S, Aoyagi N, Yoshikawa N : Neoplasms in three patients following Kawasaki disease. *Ped Int* 47 : 217-219, 2005
4. Fujiwara K, Takeuchi T, Suzuki H, and Uemura S : Tetralogy of Fallot with Anomalous Origin of the Right Pulmonary Artery from the Ascending Aorta and Hypoplastic Left Pulmonary Artery. *Pediatr Cardiol*, 26(5):662-664, 2005
5. Nozu K, Iijima K, Sakaeda T, Okumura K, Nakanishi K, Yoshikawa N, Honda M, Ikeda M, Matsuo M. Cyclosporin A absorption profiles in children with nephrotic syndrome. *Pediatr Nephrol* 20: 910-913, 2005
6. Minami K, Boshi H, Minami T, Tamura A, Yanagawa T, Uemura S, Takifuji K, Kurosawa K, Tsukino R, Izumi G, Yoshikawa N : 1p36 deletion syndrome with intestinal malrotation and annular pancreas. *Eur J Pediatr*. 164(3): 193-194 2005
7. Kounami S, Yoshiyama M, Nakayama K, Okuda M, Okuda S, Aoyagi N, Yoshikawa N : Macrophage activation syndrome in children with systemic-onset juvenile chronic arthritis. *Acta Haematol.* 113 : 124-129, 2005
8. Kounami S, Nakayama M, Yoshiyama M, Yoshimasu T, Aoyagi N, Yoshikawa N. Non-myeloablative allogenic peripheral blood stem cell transplantation in a patient with refractory osteosarcoma. *Pediatr Transplant* 9 : 342-345, 2005
9. Sako M, Nakanishi K, Obana M, Yata N, Hoshii S, Takahashi S, Wada N, Takahashi Y, Kaku Y, Satomura K, Ikeda M, Honda M, Iijima K, Yoshikawa N: *NPHS1*, *NPHS2*, *ACTN4* and *WT1* analysis in Japanese patients with congenital nephrotic syndrome. *Kidney International*. 67(4) : 1248-55, 2005. 4
10. Okuda M, Sugiyama T, Fukunaga K, Kondou M, Miyashiro E, Nakazawa T : A strain-specific antigen in Japanese *Helicobacter pylori* recognized in sera of Japanese children. *Clin.Diagn.Lab.Immunol.* 12 (11) : 1280-1284, 2005
11. Okuda M, Nakazawa T, Yamauchi K, Miyashiro E, Koizumi R, Booka M, Teraguchi S, Tamura Y, Yoshikawa N, Adachi Y, Imoto I : Bovine lactoferrin is effective to suppress *Helicobacter pylori* colonaization in the human stomach : a randomized, double-blind, placebo-controlled study. *J Infect Chemother.* 11 : 265-269, 2005
12. Minami T, Suzuki H, Takeuchi T, Uemura S, Sugatani J, and Yoshikawa N : A Polymorphism in Plasma Platelet-activating Factor Acetylhydrolase is Involved in Resistance to Immunoglobulin Treatment in Kawasaki Disease. *J Pediatr*. 147(1) : 78-83, 2005

13. Hayashi H, Okuda M, Aoyagi N, Yoshiyama M, Miyashiro E, Kounami S, Yoshikawa N: Helicobacter pylori infection in children with chronic idiopathic thrombocytopenic purpura. *Pediatrics International*, 47(3) : 292-295, 2005
14. 末永智浩, 鈴木啓之, 武内 崇, 南 孝臣, 西原正泰, 渋田昌一, 上村 茂, 吉川徳茂, 家木良彰 : 川崎病冠動脈瘤残存例の遠隔期に片側視神経萎縮を生じた1例. *Prog Med* 25:1777-1680, 2005
15. 平松健司, 岡村吉隆, 小森 茂, 西村好晴, 森 秀暁, 林 弘樹, 鈴木啓之, 武内 崇 : 大動脈弓部修復を伴う Jatene 手術 —近接二期的根治術の有用性— *胸部外科* 58(13):1128-1131, 2005
16. 小森 茂, 平松健司, 岡村吉隆, 西村好晴, 森 秀暁, 林 弘樹, 鈴木啓之, 武内 崇 : 孤立性右肺動脈欠損に対しシャント手術を施行した1例. *胸部外科* 58(12):1069-1072, 2005
17. 神波信次, 芳山 恵, 中山京子, 吉益 哲, 吉川徳茂. Dexamethasone palmitate が著効したマクロファージ活性化症候群の1例. *日本小児血液学会雑誌* 19 : 224-228, 2005
18. 神波信次, 芳山 恵, 中山京子, 吉益 哲, 吉川徳茂, 青柳憲幸, 岡本幸春, 片山紀文, 古賀 震, 中熊秀喜. 非血縁臍帯血移植を実施した2小児例. *和歌山医学* 56 : 18-21, 2005
19. 矢田菜穂子, 本田雅敬, 大友義之, 服部元史, 飯島一誠, 土屋正巳, 伊藤拓: 特発性小児ネフローゼ症候群に対するシクロホスファミドとコハク酸メチルプレドニゾロンナトリウムの適応外使用実態調査. *日本小児科学会雑誌* 109: 775-779, 2005
20. 矢田菜穂子, 石倉健司, 伊藤 陽, 大橋靖雄, 若木 均, 幡谷浩史, 池田昌弘, 本田雅敬: 腹膜透析カテーテル挿入術後無透析期間のリーク発生率に, おける有効性の検討. *日本小児腎不全学会雑誌* 25: 120-121, 2005
21. 矢田菜穂子, 池田昌弘, 松川來仁, 大橋靖雄, 飯島一誠, 佐々木聡, 服部新三郎, 吉川徳茂, 本田雅敬: 頻回再発型ネフローゼ症候群におけるネオオーラル AUC0-4hr のロジスティック回帰モデルによる再発率の推定と食前投与 C2 目標値設定. *日本小児腎臓病学会雑誌* 18: 162-163, 2005
22. 小池通夫, 田尻 仁, 奥田真珠美, 宮沢麗子, 清水俊明, 今野武津子, 吉村文一, 宮代英吉, 坊岡美奈, 林 寛子, 友政 剛, 福田能啓: 新しい便中抗原測定法の小児期 *H. pylori* 感染診断に対する有用性評価除菌判定を含めて. *日本ヘリコバクター学会誌* 7:1-12. 2005
23. 津田アサ子, 小椋美見, 飯塚忠史: 献立自慢. *臨床栄養* 107(1) : 119-123. 2005
24. 紀平省悟 : 子どもの単回性外傷を再考する. *トラウマティック・ストレス* 3(2) : 163-171, 2005
25. 坊岡美奈, 奥田真珠美 : 知っておきたい診療上の留意点 —なぜそうするのか, そうしてはいけないのか— *胃腸疾患*. *小児科* 46(5) : 826-829, 2005
26. 名木田 章, 高畑智宏, 小坂康子, 坂田理香, 飴本完二, 奥田真珠美, 萩田聡子, 小林嘉一郎, 片岡直樹 : 肥厚性幽門狭窄症に対するニトログリセリン貼付薬と硫酸アトロピン静注の併用療法. *小児科* 46(6) : 11037-1042, 2005
27. 奥田真珠美, 青柳憲幸, 宮代英吉 : ヘリコバクター・ピロリ初感染時期と感染経路. *今日の感染症* 24(4):12-15, 2005
28. 井本一郎, 奥田真珠美, 中澤晶子, 山内恒治, 足立幸彦 : 乳蛋白質ラクトフェリンの抗 *H. pylori* 作用. *日本臨床*:63(Suppl 11) : 577-581, 2005
29. 林 寛子, 青柳憲幸, 芳山 恵, 中山京子, 神波信次, 吉川徳茂 : マイコプラズマ感染症に発症した一過性血液凝固異常症1例. *日本小児血液学会雑誌* 19:30-34, 2005

学会報告

a) 国際学会

1. Kamioka I, Nozu K, Fujita T, Satomura K, Yoshiya K, Iijima K, Nakanishi K, Yoshikawa N, Matsuo M: The National Survey of Typical Hemolytic Uremic Syndrome in Japan: The Analysis of the Risk Factors Predicted the Induction of Dialysis and the Development of Central Nerve System Disorders. 38th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Philadelphia, USA, 2005
2. Fujita T, Kamioka I, Nozu K, Tanaka R, Nakanishi K, Iijima K, Yoshikawa N, Matsuo M: Long-Term Follow-up of Atypical Membranoproliferative Glomerulonephritis (Atypical MPGN) : Are Steroids

- Indicated? 38th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Philadelphia, USA, 2005
3. Suzuki H, Minami T, Muragaki Y, Uemura S, Takeuchi T, Shibuta S, Yoshikawa N : Identification of Candidate Autoantigens Associated with Kawasaki Disease. Eighth International Kawasaki Disease Symposium, San Diego, USA, 2005.2
 4. Minami T, Suzuki H, Takeuchi T, Uemura S, Shibuta S, Miwa M, Yoshikawa N : A Polymorphism in Plasma Platelet-Activating Factor Acetylhydrolase is Involved in Resistance to Immunoglobulin Treatment in Kawasaki Disease. Eighth International Kawasaki Disease Symposium, San Diego, USA, 2005.2
 5. Miyawaki M, Okutani T, Hayashi H, Kumagai T, Shibuta S, Higuchi R, Yoshikawa N : The expression of Renin-Angiotensin-System in the human fetal lung fibroblast. 1st Congress of Asian Society for Pediatric Research, 2005.11. Tokyo
 6. Sako M, Nakanishi K, Obana M, Yata N, Hoshii S, Wada N, Satomura K, Ikeda M, Honda M, Yoshikawa N : CD2AP Gene Analysis in Japanese Patients with Congenital Nephrotic Syndrome (CNS). American Society of Nephrology, 2005.11, Philadelphia
 7. Yanagawa T, Nakamura Y, Kitano N: Construction of the Asian Network for the Prevention of Child Abuse and Neglect -Asian Neighbors Network Program by the Toyota Foundation-. 6th ISPCAN Asian Regional Conference, 2005.11, Singapore
 8. Okuda M, Nakazawa T, Miyashiro E, Aoyagi N, Koike M : Luncheon Seminar : —Diagnosis of *Helicobacter pylori* Infection— Acquisition age and transmission route of *Helicobacter pylori* Infection in Japanese children. The 4th Annual Conference of Japan - Korea Joint Meeting on Helicobacter Infection. 2005.2. Beppu
 9. Okuda M, Sugiyama T, Fukunaga K, Kondou M, Miyashiro M, Nakazawa T, Koike M, Yoshikawa N : Demonstration of a 100-kDa Antigen in Japanese Strains of *H. pylori* Recognized by Japanese Children. The 1st Asia Society of Pediatric Research. 2005.11. Tokyo
 10. Nakamura Y, Yanagawa T, Kitano N, Kirino Y, Okuyama M: The role of JaSPCAN in Reforming the Child Protection System and Strengthening the Network in Japan. 6th ISPCAN Asian Regional Conference, 2005.11, Singapore
 11. Tsuji T, Okuda M, Soya Y, Hayashi H, Booka M, Miyashiro E, Shin K, Yamauchi K, Shimizu T, Koike M, Yoshikawa N : Detection of gene mutations associated with CAM-resistant *H. pylori* by ASP-PCR method using stool. the 1st Congress of Asian Society for Pediatric Research, 2005.11, Tokyo

b) シンポジウム, 学術講演等

1. 吉川徳茂 : ネフローゼ症候群の診断と治療. 第 40 回日本小児腎臓病学会学術集会, 仙台, 2005
2. 吉川徳茂 : シンポジウム「小児疾患の治療ガイドライン」小児 IgA 腎症の治療. 第 108 回日本小児科学会学術集会, 東京, 2005. 4. 24
3. 吉川徳茂 : ワークショップ「Evidence and experience based medicine に基づく治療戦略」小児腎疾患における治療ガイドラインの作成. 第 35 回日本腎臓学会西部学術大会, 長崎, 2005
4. 吉川徳茂 : ワークショップ「小児ネフローゼ症候群における診断の定義と治療」第 6 回東京腎炎・ネフローゼ研究会, 2005. 7. 16 東京
5. 吉川徳茂 : 講演「小児腎臓病学 : 30 年の変遷と今日的課題」第 30 回吉馴学術記念講演会 2005. 7. 30 神戸
6. 吉川徳茂 : 特別講演「EBM に基づいた小児腎疾患の治療」北海道先進医療研究会 2005. 11. 29 旭川
7. 吉川徳茂 : 特別講演「EBM に基づいた IgA 腎症治療法の開発に向けて」第 2 回中四国腎フォーラム 2005. 12. 10 岡山
8. 南 弘一 : プレイリーダー養成講座 病気の子どもについて (基礎的理解) 2005. 7. 25 (和歌山県立医科大学 生涯研修・地域医療センター)
9. 南 弘一 : インフルエンザの予防・治療～中枢神経合併症も含めて～2005. 10. 15 (田辺市・日高・西牟婁郡 3 医師会学術講演会)

10. 中西浩一：小児の腎疾患と腎生検の適応～学校検尿のフォローについて～ 枚岡医師会学術講演会 2005. 4. 19 東大阪
11. 中西浩一, 吉川徳茂：「Thrombotic microangiopathy の基礎と臨床：最近の進歩」3. 小児の HUS 第 48 回日本腎臓学会学術総会 2005. 6. 23 横浜
12. 中西浩一：「糸球体上皮細胞関連蛋白と遺伝性ネフローゼ症候群」 第 19 回九州小児ネフロロジー研究会 2005. 7. 23 福岡
13. 中西浩一：「多発性嚢胞腎 (PKD) の病態生理-ARPKD モデルにおける解析を中心に-」 第 13 回嚢胞性腎疾患研究会 2005. 9. 17. 東京
14. 紀平省悟：有田地方における病院小児科と自閉症診療，シンポジウム県内の自閉症診療の実際(日本自閉症協会和歌山県支部主催) .2005. 和歌山市
15. 紀平省悟：軽度発達障害について，平成 17 年度和歌山県学校・地域保健連携推進事業. 2005.9. 海南市
16. 紀平省悟：発達支援ワークショップ (1)，総論 乳幼児保健と発達 (障害) 観. 2005.9. 湯浅町
17. 紀平省悟：発達支援ワークショップ (2)，アタッチメント (愛着) 理論その 1. 2005.10. 湯浅町
18. 紀平省悟：発達支援ワークショップ (3)，親支援のための面接技法その 1. 2005.12. 湯浅町
19. 紀平省悟：乳幼児の感情制御障害について. 市町村保健師協会有田支部研修会. 2005.10. 有田市
20. 下山田洋三：障害児と虐待. 近畿地区重症児 (者) 施設職員研修会講演, 2005.2. 大阪
21. 下山田洋三：児童虐待について. 和歌山家庭裁判所家事調停委員研究会講演, 2005.9. 和歌山
22. 下山田洋三：子どもの虐待を防ぐために. 海南・海草児童虐待防止ネットワーク会議講演, 2005.11. 海南
23. 奥田真珠美：ちょっと気になる子どもの症状 ～その時あなたはどうすればよいか?～. 和歌山労災病院市民公開講座 (あなたの健康をまもるコツシリーズ). 2005.6. 和歌山
24. 奥田真珠美：ピロリ菌の感染はどこから. 和歌山労災病院市民公開講座 (あなたの健康をまもるコツシリーズ). 2005.7. 和歌山
25. 奥田真珠美： *Helicobacter pylori* 感染獲得と小児期の疾患 ― そして胃癌予防に向けて、第 130 回大阪小児科医会学術集会, 2005.12. 大阪
26. 奥田真珠美：ちょっと気になる子どもの症状、第 1 回 和歌山小児科医会 和歌山子ども健康セミナー, 2005.12. 和歌山
27. 奥田真珠美, 青柳憲幸, 宮代英吉, 鳴海美智子, 矢本 中, 坪田ゆかり, 谷村 弘：一般パネルディスカッション、医療従事者の安全衛生「医療従事者の職種別 *Helicobacter pylori* 抗体保有状況」, 第 53 回日本職業・災害医学会. 2005.11. 大阪
28. 山家宏宣：「小児科医からみた今の子育て」 平成 16 年度那賀郡母子保健研修会 桃山町保健福祉センター2005.1.17
29. 山家宏宣：化膿性髄膜炎を早期診断するための病診連携をさぐる 第 2 回紀ノ川小児科病診連携勉強会 岩出町 2005.5.28
30. 野田英作：こどもの病気について ひまわり園の保護者教室 桃山町コミュニティセンター 2005.11.22
北野尚美：子どもの病気のミニ講座ーおうちでのポイントー. 田辺市子育て支援セミナー. 2005.11, 田辺市
31. 平松知佐子, 番 浩：新生児のブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群 生物学的検討を行った 5 例. 第 26 回和歌山感染症化学療法研究会 2005.11.26, 和歌山県立医科大学小児科
32. 西本幸弘：軸索型ギラン・バレー症候群の発症機序と治療. 第 47 回日本小児神経学会学術集会ランチョンセミナー, 2005.5. 熊本

c)全国学会

1. 樋口隆造, 宮脇正和, 奥谷貴弘, 熊谷 健, 番 浩. 甲状腺機能亢進症状を呈したバセドー病妊婦から出生した新生児の甲状腺機能. 第 50 回日本未熟児新生児学会, 2005.12.4-6, 名古屋市.
2. 鈴木啓之, 武内 崇, 上村 茂, 南 孝臣, 末永智浩, 西原正泰, 吉川徳茂, 渋谷昌一, 平松健司, 岡村吉隆：膜様部心室中隔欠損における右冠尖逸脱の診断に関する検討. 第 41 回日本小児循環器学会総会, 2005.7. 東京

3. 南 弘一, 田村 彰, 泉 鉦吉, 木岡直美, 中山京子, 柳川敏彦, 吉川徳茂 : 多彩な中枢神経症状を認めたロタウイルス感染症の 5 例. 第 47 回日本小児神経学会総会 (熊本市) 2005. 5. 20
4. 中西浩一, 本田雅敬, 池田昌弘, 服部新三郎, 佐々木聡, 吉川徳茂 : 小児ステロイド感受性特発性ネフローゼ症候群 (SSNS) の長期予後. 第 40 回日本小児腎臓病学会学術総会, 2005. 5. 12-14 仙台
5. 奥谷貴弘, 坊岡美奈, 宮脇正和, 樋口隆造, 吉川徳茂 : Pancuronium が自律神経におよぼす影響—心電計による簡易心拍変動解. 第 41 回日本周産期・新生児医学会 2005. 7. 10 福岡
6. 田村 彰, 南 弘一, 吉川徳茂 : *Salmonella agona* による化膿性脊椎炎の 1 例. 第 108 回日本小児科学会学術集会 (東京都) 2005. 4. 23
7. 宮脇正和, 奥谷貴弘, 末永智浩, 西原正泰, 坊岡美奈, 樋口隆造, 吉川徳茂 : 新生児期における血漿中アンジオテンシン II 濃度の検討, 日本小児科学会学術集会 2005. 4. 東京
8. 宮脇正和, 奥谷貴弘, 坊岡美奈, 樋口隆造, 吉川徳茂 : 極低出生体重児における血漿中アンジオテンシン II 濃度の検討 第 41 回日本周産期新生児医学会総会, 2005. 7. 福岡
9. 宮脇正和, 木岡直美, 熊谷 健, 奥谷貴弘, 樋口隆造 : 極低出生体重児における血漿中アンジオテンシン II 濃度の検討 第 2 報 第 50 回日本未熟児新生児学会学術集会, 2005. 12. 名古屋
10. 佐古まゆみ, 中西浩一, 尾鼻美奈, 矢田菜穂子, 吉川徳茂, 中尾幸子, 重里敏子 : 急速進行性糸球体腎炎症候群で発症した IgA 腎症の 1 例. 第 108 回小児科学会学術集会, 2005. 4 東京
11. 佐古まゆみ, 中西浩一, 矢田菜穂子, 尾鼻美奈, 星井桜子, 和田尚弘, 里村憲一, 池田昌弘, 本田雅敬, 吉川徳茂 : 日本人先天性ネフローゼ症候群 12 例における CD2AP 遺伝子 (*CD2AP*) の検索. 第 40 回日本小児腎臓病学会学術総会, 2005. 5 仙台
12. 佐古まゆみ, 中西浩一, 矢田菜穂子, 尾鼻美奈, 星井桜子, 和田尚弘, 里村憲一, 池田昌弘, 本田雅敬, 吉川徳茂 : 日本人先天性ネフローゼ症候群 12 例における CD2AP 遺伝子 (*CD2AP*) の検索. 第 48 回日本腎臓病学会学術総会, 2005. 6 横浜
13. 佐古まゆみ, 中西浩一, 尾鼻美奈, 矢田菜穂子, 吉川徳茂, 中尾幸子, 重里敏子 : 急速進行性糸球体腎炎症候群で発症した IgA 腎症の 1 例. 第 26 回小児腎不全学会, 2005. 9 箱根
14. 矢田菜穂子, 池田昌弘, 松川來仁, 大橋靖雄, 飯島一誠, 佐々木聡, 服部新三郎, 吉川徳茂, 本田雅敬 : 頻回再発型ネフローゼ症候群におけるネオオーラル AUC0-4tr のロジスティック回帰モデルによる再発率の推定と食前投与 C2 目標値設定. 第 40 回日本小児腎臓病学会学術集会, 2005. 5 仙台
15. 金子徹治, 矢田菜穂子, 飯島一誠, 五十嵐隆, 本田雅敬, 吉川徳茂, 大橋靖雄 : 小児腎臓病を専門とする臨床医への質問紙表により調査結果に基づいた臨床試験の必要症例数設定. 第 40 回日本小児腎臓病学会学術集会, 2005. 5 仙台
16. 小山博史, 島 裕子, 杉本卓也, 平松知佐子, 熊谷 健, 樋口隆造 : 新生児一過性多呼吸重症・軽症例の比較. 第 50 回日本未熟児新生児学会, 2005. 11. 名古屋
17. 西本幸弘 : 小児ギラン・バレー症候群における IgG 抗ガングリオシド抗体と臨床像. 第 47 回日本小児神経学会学術集会, 2005. 5. 熊本
18. 野田英作, 島 友子, 山家宏宣, 森 一成, 小森有紀 : 若年性ポリープに印環細胞癌を認めた 9 歳男児例. 第 32 回日本消化器栄養肝臓学会. 福岡 2005. 10. 8
19. 辻 知見, 奥田真珠美, 宮代英吉, 曾家義博, 坊岡美奈, 林 寛子, 小池通夫, 吉川徳茂, 清水俊明 : ASP-PCR 法を用いた Clarithromycin 耐性 *Helicobacter pylori* 遺伝子の便からの検出. 第 9 回日本小児 H. pylori 研究会. 2005. 3. さいたま
20. 辻 知見, 奥田真珠美, 曾家義博, 林 寛子, 坊岡美奈, 宮代英吉, 清水俊明, 小池通夫, 吉川徳茂 : ASP-PCR 法を用いた Clarithromycin 耐性 *Helicobacter pylori* 遺伝子の便からの検出. 第 108 回日本小児科学会学術集会, 2005. 4. 東京
21. Tsuji T, Okuda M, Soya Y, Hayashi H, Booka M, Miyashiro E, Shin K, Yamauchi K, Shimizu T, Koike M, Yoshikawa N : Detection of *Helicobacter pylori* 23S rRNA gene mutation associated with clarithromycin resistance from stool by ASP (allele-specific primer) - PCR method. 第 11 回日本ヘリコバクター学会学術集会, 2005. 6. 岡山
22. 吉村文一, 位田 忍, 田尻 仁, 澤田 敦, 虫明聡太郎, 奥田真珠美 : CAM 耐性が H. pylori 除菌成績に

およぼす影響. 第9回日本小児 H. pylori 研究会. 2005. 3. さいたま

23. 奥田真珠美, 宮代英吉, 青柳憲幸, 帽子はるな, 福永健一, 近藤 大, 小池通夫, 吉川徳茂: シーケンスによる Clarithromycin 耐性 H. pylori 遺伝子の便からの検出と除菌治療への応用. 第108回日本小児科学会. 2005. 4. 東京
24. 杉本卓也, 奥田真珠美, 宮代英吉, 小池通夫: 乳幼児の便中 Helicobacter pylori 坑原陽転時期と感染に及ぼす因子の検討. 第11回日本ヘリコバクター学会 ワークショップ, 2005. 7. 岡山
25. 坊岡美奈, 奥田真珠美, 宮代英吉, 辻 知見, 林 寛子, 吉川徳茂: 1週間のマクロライド系抗生剤内服後にクラリスロマイシン耐性 Helicobacter pylori が出現した姉妹例. 第11回 日本ヘリコバクター学会. 2005. 6. 岡山
26. 辻 知見, 奥田真珠美, 宮代英吉, 曾家義博, 坊岡美奈, 小池通夫, 吉川徳茂, 林 寛子, 新 光一郎: ASP-PCR法を用いた Clarithromycin 耐性 Helicobacter pylori の便からの検出. 第11回 日本ヘリコバクター学会. 2005. 6. 岡山
27. 林 寛子, 奥田真珠美, 宮代英吉, 曾家義博, 辻 知見, 坊岡美奈, 小池通夫, 吉川徳茂, 新 光一郎, 山内恒治, 清水俊明: ASP-PCR法を用いた Clarithromycin 耐性 Helicobacter pylori の便からの検出. 第11回日本ヘリコバクター学会. 2005. 6. 岡山
28. 辻 知見, 奥田真珠美, 宮代英吉, 曾家義博, 坊岡美奈, 小池通夫, 吉川徳茂, 林 寛子, 新 光一郎: 除菌失敗例におけるクラリスロマイシン 耐性 Helicobacter pylori 遺伝子変異の検討. 第11回日本ヘリコバクター学会. 2005. 6. 岡山
29. 奥田真珠美, 杉山敏郎, 福永健一, 近藤 大, 中澤晶子: 小児の抗 Helicobacter pylori 抗体と日本人菌株に存在する 100kDa 抗原に対する小児の反応性. 第11回 日本ヘリコバクター学会. 2005. 6. 岡山
30. 林 寛子, 奥田真珠美, 宮代英吉, 曾家義博, 辻 知見, 坊岡美奈, 小池通夫, 吉川徳茂, 新 光一郎, 山内恒治, 清水俊明: 除菌失敗例におけるクラリスロマイシン 耐性 Helicobacter pylori 遺伝子変異の検討. 第32回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2005. 10. 久留米
31. 坊岡美奈, 林 寛子, 吉川徳茂, 奥田真珠美, 宮代英吉, 辻 知見: 1週間のマクロライド系抗生剤内服後にクラリスロマイシン耐性 Helicobacter pylori が出現した姉妹例. 第32回 日本小児栄養消化器肝臓学会. 2005. 10. 久留米

d) 地方学会

1. 南 弘一, 田村 彰, 吉川徳茂, 岡田由香: 先天性ホルネル症候群と考えられた1男児例. 第27回和歌山小児神経研究会, 2005. 7. 9 和歌山
2. 武内 崇, 鈴木啓之, 吉川徳茂, 洪田昌一, 岡村吉隆, 平松健司, 小森 茂, 南 孝臣: 心臓検診で発見された不完全型心内膜床欠損の小学一年生女児例. 第142回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 6. 4. 和歌山
3. 奥谷貴弘, 坊岡美奈, 西原正泰, 末永智浩, 宮脇正和, 樋口隆造, 吉川徳茂: プロスタグランジン I₂投与が著効した肺高血圧症合併重症子宮発育遅延児の1例. 第143回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 10. 29. 和歌山
4. 神波信次, 芳山 恵, 吉益 哲, 吉川徳茂, 青柳憲幸, 津野 博: 当科における造血細胞移植症例の検討. 第141回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 2. 5. 和歌山
5. 洪田昌一, 木岡直美, 熊谷 健, 奥谷貴弘, 樋口隆造, 武内 崇, 鈴木啓之, 吉川徳茂, 中森幹人, 瀧藤克也, 山上裕機: 胆道閉鎖症を合併した多脾症候群の1例. 第143回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 10. 29. 和歌山
6. 田村 彰, 南 孝臣, 泉 鉉吉, 南 弘一, 吉川徳茂, 柳川敏彦, 奥田修司, 岩橋誠司: マイコプラズマ感染後に律動性運動障害を発症した1例. 第26回和歌山小児神経研究会, 2005. 1. 29 和歌山
7. 田村 彰, 泉 鉉吉, 南 弘一, 柳川敏彦: 4歳で律動性運動障害を発症した1女児例. 第37回日本小児神経学会近畿地方会, 2005. 4. 2 神戸
8. 田村 彰, 辻岡洋人, 大松泰生, 南 弘一, 柳川敏彦: 線維筋痛症の1例. 第27回和歌山小児神経研究会, 2005. 7. 9 和歌山

9. 田村 彰, 南 弘一, 吉川徳茂: 低リン血症性ビタミンD抵抗性くる病の2例. 第143回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 10. 29
10. 泉 鉉吉, 田村 彰, 南 弘一, 吉川徳茂, 柳川敏彦: Cortical dysplasiaの2例. 第26回和歌山小児神経研究会(和歌山市) 2005. 1. 29
11. 池島英之, 田村 彰, 南 弘一: もやもや病. 第1回和歌山研修医セミナー, 2005. 9. 10 和歌山
12. 宮脇正和, 樋口隆造, 末永智浩, 西原正泰, 坊岡美奈, 奥谷貴弘, 中山京子, 番 浩, 吉川徳茂: 母体甲状腺ホルモン高値が原因と考えられる中枢性甲状腺機能低下症の3例. 第24回近畿小児内分泌研究会, 2005. 3. 大阪
13. 佐古まゆみ, 中西浩一, 尾鼻美奈, 矢田菜穂子, 吉川徳茂: 学校検尿を契機に発見された全身性エリテマトーデスの1例. 第141回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 2. 5. 和歌山
14. 佐古まゆみ, 中西浩一, 尾鼻美奈, 矢田菜穂子, 吉川徳茂: 学校検尿を契機に発見された全身性エリテマトーデスの1例. 第31回近畿小児腎臓病研究会, 2005. 3. 19. 大阪
15. 佐古まゆみ, 中西浩一, 尾鼻美奈, 矢田菜穂子, 吉川徳茂: 紫斑病性腎炎・腎生検施行10例の検討. 第142回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 6. 4. 和歌山
16. 坊岡美奈, 西原正泰, 末永智浩, 宮脇正和, 奥谷貴弘, 樋口隆造, 吉川徳茂: 虚血性壊死を起こした手指を温存しえた超低出生体重児の1例. 第141回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 2. 5. 和歌山
17. 末永智浩, 西原正泰, 坊岡美奈, 宮脇正和, 奥谷貴弘, 樋口隆造, 武内 崇, 南 孝臣, 鈴木啓之, 上村茂, 吉川徳茂: PHACES 症候群が疑われる一例. 第141回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 2. 5. 和歌山
18. 芳山 恵, 神波信次, 吉益 哲, 吉川徳茂, 中山京子, 奥田真珠美, 宮代英吉, 奥田修司, 泉 鉉吉, 番浩: マクロファージ活性化症候群6症例の検討. 第142回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 6. 4. 和歌山
19. 木岡直美, 鈴木里衣子, 中西直之, 水越真里, 宮下律子, 前田恒宏, 永井祐吾, 長谷川裕子, 芳山 恵, 吉益 哲, 神波信次: 胆石症、急性膵炎を合併した遺伝性球状赤血球症の1例. 第141回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 2. 5. 和歌山
20. 木岡直美, 向山弘展, 坊岡美奈, 熊谷 健, 渋谷昌一, 奥谷貴弘, 樋口隆造, 吉川徳茂, 瀧藤克也, 山家宏宣: 胎内発症が疑われた中腸軸捻転の1例. 第142回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 6. 4. 和歌山
21. 津野嘉伸, 佐古真由美, 尾鼻美奈, 中西浩一, 岡本昌典, 根木茂雄, 秋澤忠男, 吉川徳茂: 著明な高Ca血症を呈した慢性腎不全の1例. 第32回近畿小児腎臓病研究会, 2005. 11. 19. 大阪
22. 宮代英吉, 帽子はるな, 奥田真珠美, 青柳憲幸: 抗マラリア薬(メフロキン)でてんかん発作が誘発された1例. 第26回 和歌山小児神経研究会. 2005. 1. 和歌山
23. 宮代英吉, 谷口勝俊, 高木伴幸, 奥田真珠美, 貞兼すま子, 温 忍, 谷村 弘, 田中智之: ノロウイルスによる急性胃腸炎の院内集団発生. 第2回和歌山院内感染対策フォーラム. 2005. 4. 和歌山
24. 鳴海美智子, 西本里美, 松尾 昇, 阿南孝志, 坪田ゆかり, 宮代英吉, 谷村 弘: 迅速・簡便な遺伝子増幅法(TRC法)による便中ノロウイルス検出の実際. 第10回 和歌山県病院協会学術大会. 2005. 11. 和歌山
25. 松尾 昇, 鳴海美智子, 西本里美, 阿南孝志, 坪田ゆかり, 宮代英吉, 谷村 弘: 便中ノロウイルス検出におけるRT-PCR法の有用性. 第10回 和歌山県病院協会学術大会. 2005. 11. 和歌山
26. 吉村友希, 浜田有子, 坂口洋子, 岩橋佳代, 宮代英吉: 新生児光線療法のクリニカル・パスを導入して. 第10回和歌山県病院協会学術大会. 2005. 11. 和歌山
27. 橘 雅弥, 青天目信, 最上友紀子, 下野九理子, 沖永剛志, 酒井規夫, 谷池雅子, 大藪恵一, 永井利三郎, 宮代英吉: 直腸粘膜生検からD-bifunctional protein deficiencyの診断に至った一例. 第38回日本小児神経学会近畿地方会. 2005. 11. 大阪
28. 柳川敏彦, 南 弘一, 田村 彰, 吉川徳茂, 北野尚美, 下山田洋三: 17例の頭蓋内出血の検討-虐待例の特徴について-. 第26回和歌山小児神経研究会(和歌山市) 2005. 1. 29

29. 小山博史, 島 裕子, 熊谷 健, 平松知佐子: 岸和田徳洲会病院 NICU で経験した新生児一過性多呼吸重症・軽症例の比較. 第 141 回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 2. 5. 和歌山
30. 奥田真珠美: 小児下痢症におけるノロウイルス感染の関与の検討. 第 27 回大阪小児栄養消化器病懇話会. 2005. 5. 大阪
31. 奥田真珠美, 小出 裕, 山本大輔, 帽子はるな, 青柳憲幸, 宮代英吉: 突然の意識障害をくり返した 1 型糖尿病の女兒例. 第 6 回和歌山小児内分泌研究会. 2005. 6. 和歌山
32. 山家宏宣, 野田英作, 島 友子: 肥満症児の小児保健上の問題点—当院の肥満症 20 例の検討から— 第 34 回和歌山県小児保健協会研究集会 和歌山 2005. 10. 27
33. 吉田佳世, 野田英作, 島 友子, 山家宏宣, 武内 崇 γ グロブリン大量療法に反応せずステロイドパルス療法を行ったが巨大冠動脈瘤を合併した川崎病の 1 例 第 20 回和歌山川崎病研究会 和歌山 アバローム紀の国 2005. 12. 3
34. 鈴木里衣子, 木岡直美, 中西直之, 水越真里, 宮下律子, 高井昭洋, 前田恒宏, 白井康嗣, 馬野泰一, 林堂元紀, 永井祐吾: 上部消化管内視鏡で整復した胃軸捻転症の 1 歳女兒例. 第 141 回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 2. 5. 和歌山
35. 鈴木里衣子, 向山弘展, 中山京子, 中西直之, 宮下律子: Batter 症候群の姉妹例について. 第 142 回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 6. 4. 和歌山
36. 島 裕子, 熊谷 健, 小山博史, 望月成隆: 先天性肺胞蛋白症の 1 例. 第 23 回和歌山周産期医学研究会, 2005. 2. 和歌山
37. 津田祐子, 中山京子, 平松知佐子, 杉本卓也, 井上徳浩, 渋田昌一, 番 浩, 月野隆一: 当科でフォロー中の神経線維腫症 30 例の頭部 MRI 所見. 第 141 回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 2. 5. 和歌山
38. 帽子はるな, 奥田真珠美, 青柳憲幸, 宮代英吉, 西原正泰, 中谷佳弘, 瀧藤克也: 先天性食道閉鎖・十二指腸閉鎖の 1 合併例. 第 141 回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 2. 5. 和歌山
39. 帽子はるな, 奥田真珠美, 青柳憲幸, 宮代英吉: 水痘-帯状疱疹ウイルスの再活性化が関与したと考えられる高度したと考えられる高度感音性難聴の一例. 第 7 回和歌山臨床小児研究会. 2005. 7. 和歌山
40. 龍神有紀, 野田英作, 山家宏宣, 島田佳世, 野々山勝人: インフルエンザ桿菌による重症感染症例の検討. 第 141 回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 2. 5. 和歌山
41. 小森有紀, 南 孝臣, 津田祐子, 平松知佐子, 泉 鉉吉, 番 浩, 土生川千珠, 吉川徳茂: 胸水貯留で発症した溶連菌感染後急性糸球体腎炎の 1 例. 第 143 回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 10. 29. 和歌山
42. 向山弘展, 中西直之, 鈴木里衣子, 中山京子, 宮下律子, 柳川敏彦, 吉川徳茂: 非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の 1 例. 第 143 回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 10. 29. 和歌山
43. 津野嘉伸, 田村 彰, 神波信次, 南 弘一, 吉川徳茂, 重里敏子: 拡散強調画像が診断に有効であった HHV-6 脳症の 2 例. 第 142 回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 6. 4. 和歌山
44. 津野嘉伸, 中西浩一, 佐古まゆみ, 尾鼻美奈, 吉川徳茂: ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の 1 例. 第 143 回日本小児科学会和歌山地方会, 2005. 10. 29. 和歌山
45. 山本大輔, 帽子はるな, 奥田真珠美, 青柳憲幸, 宮代英吉: けいれん、意識障害を繰り返した ACTH-ADH 分泌異常症と考えられる 1 型糖尿病の 1 例. 第 27 回和歌山小児神経研究会. 2005. 7. 和歌山

e) その他

1. 野田英作: 腹部エコー症例の検討 第 2 回ノ川小児科病診連携勉強会 岩出町 2005. 5. 28
2. 野田英作 川崎病について 那賀医師会勉強会 打田町 2005. 10. 13
3. 平松知佐子, 番 浩: 新生児ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群の 6 例. 第 14 回南紀小児科カンファレンス 2005. 12. 7 田辺
4. 帽子はるな: 小児の化膿性髄膜炎の早期診断について. 第 2 回紀ノ川小児科病診連携勉強会. 2005. 5. 打田

研究費交付状況

1. 平成 17 年度厚生労働科学研究補助金 (効果的医療技術の確立推進臨床研究事業) H15-小児-002 「小

児難治性腎疾患に対する薬物療法ガイドライン作成のための多施設共同研究と臨床試験体制整備」主任研究者：吉川徳茂 研究協力者・事務局：中西浩一

2. 平成 17 年度日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C) (2)・研究課題名：溶血性尿毒症症候群に伴う急性脳症の発症、進展に関する基礎的研究 課題番号 15591128 800(千円) 研究代表者：南 弘一，共同研究者：鈴木啓之・吉川徳茂
3. 平成 17 年度日本学術振興会科学研究費補助金 基盤 (C) 課題番号 17591111 「先天性ネフローゼ症候群における原因遺伝子と発症機序の分子生物学的研究」研究代表者：中西浩一 研究分担者：吉川徳茂
4. 平成 17 年度科学研究補助金 若手 B 課題番号 17790719 「造血幹細胞移植後ウイルス感染症早期診断法の研究」 研究代表者：吉益 哲
5. 平成 17 年度小児医学研究助成金 (財団法人母子健康協会) 助成番号 17-1 「溶血性尿毒症症候群の分子遺伝学的研究」研究代表者：中西浩一
6. 平成 17 年度和歌山県立医科大学 特定研究助成 「組織線維化と腫瘍悪性化の病態解明と上皮-間葉系移行を標的としたその治療法の開発」 主たる研究者：大西克尚 共同研究者：吉川徳茂
7. 平成 17 年度医学研究助成 (共同研究) (財団法人和歌山県医学振興会) 決定番号 17. 共同 5 号 「和歌山県における小児ネフローゼ症候群の前方視的疫学調査と原因解明に関する研究」 津田紀彦，宮代英吉，紀平省悟，重里敏子，岩橋誠司，番 浩，山家宏宣，大石 興，中西浩一
8. 和歌山医学振興会医学研究助成 16 共 14 号 北野尚美：和歌山県における育児支援プログラムに関する研究
9. 和歌山医学振興会助成 講演第 19 号 北野尚美：ありだ子どもの虐待を学ぶ会